

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2013.03) 平成23年度:107-110.

手術看護の質向上に向けた取り組み

山近真実、藤原由紀恵、本間 敦

# 手術看護の質向上に向けた取り組み

旭川医科大学病院手術部 山近 真実、藤原由紀恵、本間 敦

## 【はじめに】

当手術部は平成22年3月より、手術看護の質向上を目的としリーダーを二人体制とした。手術看護の質向上を担うリーダーはクリニカルリーダーレベルⅣの看護師が担当している(現在2名)。主な役割としてリーダー間の連携を図り、使用する手術室や看護師の配置決定、術前術後訪問の調整、教育時間の確保、緊急時および問題発生時の対応、外注業者との調整などがある。リーダー二人体制導入から1年が経過し評価した。

## 【目的】

新設リーダーが実施した業務内容、役割および手術看護に与えた影響について明らかにする。

## 【結果・考察】

新設リーダーの業務内容、役割は周手術期の連携、安全管理、教育、患者看護、他職種との調整に分類された。そしてそれらの業務内容、役割は術前術後訪問件数の増加、手術看護における安全性の向上、教育体制の強化、組織における業務の円滑化にあらわれ、A医科大学病院手術部において新設リーダーは手術看護の質の向上に寄与していることが明らかになった。

## 手術看護の質向上に向けた取り組み

旭川医科大学病院 手術部ナースステーション  
山近真実

## リーダー 1人体制における問題

手術件数増加やターンアラウンドタイム短縮に伴い患者入室時間や看護師人員配置の変更など連絡調整する機会が増加している

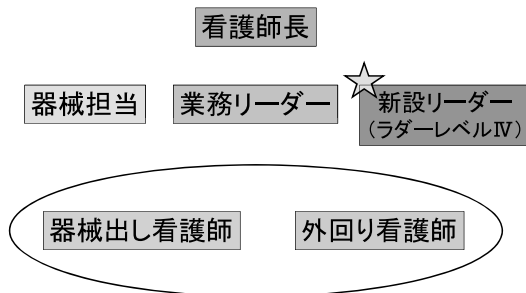
常に各手術室の進行状況を把握していなければならずリーダー自身、昼休憩をとることが困難であった

➡ リーダーの補佐的役割が必要

看護師は49名中26名(53%)が3年目以下であり新任者11名(新人9名)と手術看護経験が少ないスタッフが多い

➡ 安全管理、教育体制の強化が必要

## 手術部看護師の構成



## 目的

新設リーダーが実施した業務内容、役割および手術看護に与えた影響について明らかにする

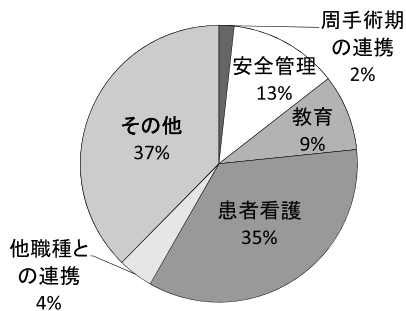
## 調査方法

対象 新設リーダーを担当する看護師2名

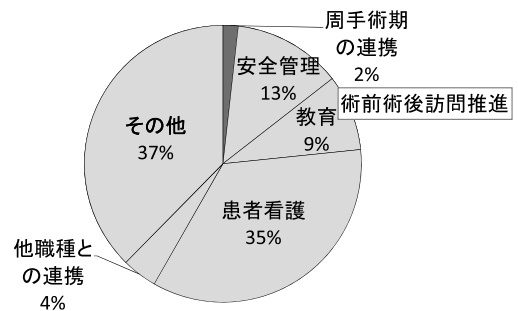
調査期間 平成23年 5月

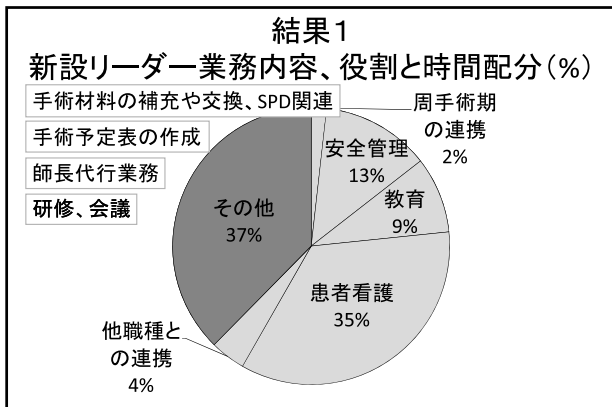
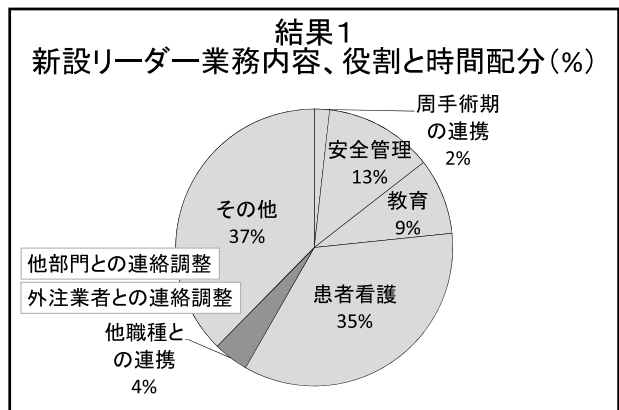
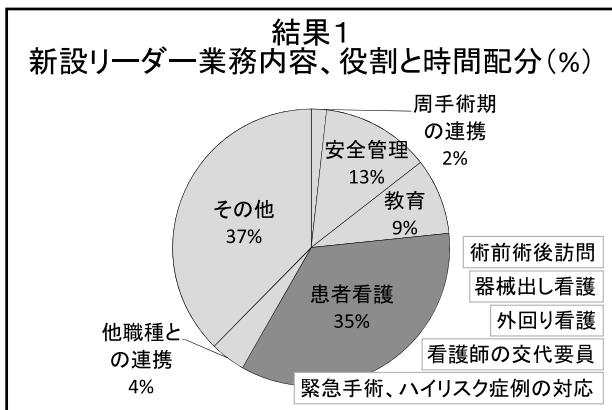
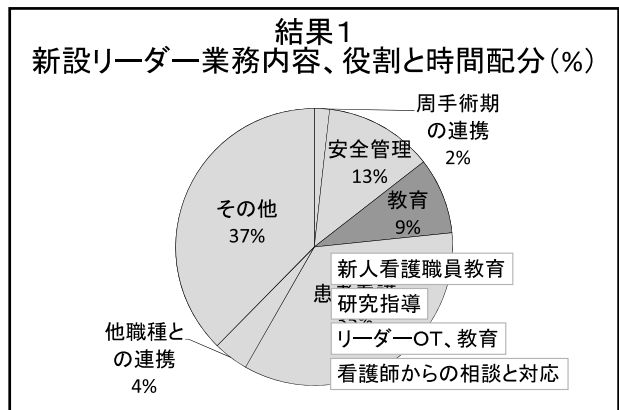
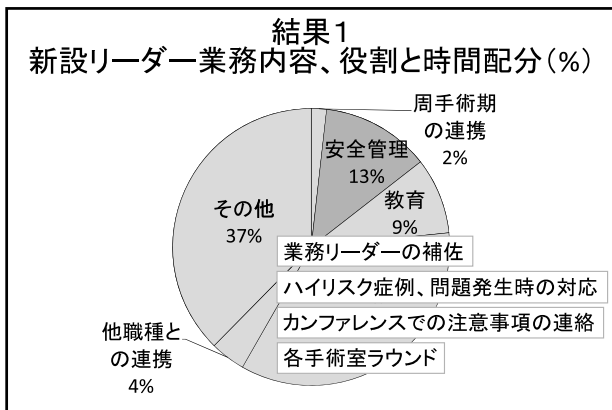
調査方法 調査用紙に実践した業務内容、役割およびそれに要した時間(分)を記載する

結果1  
新設リーダー業務内容、役割と時間配分(%)



結果1  
新設リーダー業務内容、役割と時間配分(%)





考察  
新設リーダーが手術看護に与えた影響

平成21年度 全身麻酔手術 術前訪問率 3%  
平成22年度 全身麻酔手術 術前訪問率 23% ▲

➡ 術前訪問率の増加

ハイリスク症例(全身状態悪化、混合科手術、特殊体位など)  
問題発生時(ガーゼや針が合わないなど) ラダーレベルIVによる  
緊急時(緊急手術、患者急変時など) 迅速な対応

朝夕カンファレンスでの業務連絡・注意喚起

➡ 手術看護の安全性の向上

### 考察

#### 新設リーダーが手術看護に与えた影響

新設リーダーは新人看護職員教育を担当している

1. 院内教育におけるOFF-JT、OJTの連動が可能
2. 手術看護評価表の導入、評価時間の調整
3. 手術室ラウンドによる看護の評価、指導

➡ 教育体制の強化

師長、リーダー、看護スタッフの代行が可能

他職種との連携が可能

看護師がいつでも相談できる存在

➡ 組織における業務の円滑化

### 結論

新設リーダーの業務内容、役割は

1. 術前訪問件数の増加
2. 手術看護における安全性の向上
3. 教育体制の強化
4. 組織における業務の円滑化

にあらわれ

手術看護の質向上に寄与している